

## 平成20年度 学校評価報告

愛知教育大学附属岡崎小学校

### 総括

#### (1) 教育目標

生活の中から問題を見つけ、自ら生活を切り開いていくことのできる児童の育成。  
経験や体験を重視し、事実をもとに問題の解決を図ろうとする児童の育成。  
友だちの気持ちや思いやり、互いに磨き合おうとする児童の育成。

#### (2) 中長期経営目標

- ・自由で自立した人格の育成と社会的責任の自覚を養う。
- ・児童の多様な能力に対応した教育を行うとともに、個性を尊重しつつ学力を伸ばす。
- ・大学と連携し、子ども一人一人の個性と生活体験を大切にした「生活教育」についての教育研究を行う。
- ・安全で安心な教育環境を整備し、安全・健康教育を進める。
- ・国立大学法人附属学校として、大学と連携した学校マネジメントを推進する。
- ・機能的な学校運営を行うとともに、教職員の職能向上に努める。
- ・社会と世界に開かれた学校づくりを進める。
- ・家庭、地域に学校の様子や状況について積極的に情報提供し、学校評価を学校運営に生かす。

#### (3) 短期経営目標（本年度の重点目標）

##### 各教科・領域の指導

- ・各教科でねらう価値意識を養う授業を展開するとともに、くすのき学習の充実を図る。
- ・児童英語の充実・改善を通して、国際理解教育の推進を図る。
- ・コンピュータに慣れ親しむとともに、有効な活用方法を探る。

##### 研究

- ・「本気で学びつづける子ども」を求め、「生活分科の本質に迫る」授業をめざし、実践を通して、各生活分科やくすのき学習における教師支援を探る。

##### 教育実習

- ・教育実習生に対し、教育活動の基本的なあり方を具体的な実践を通して指導する。

##### 学校運営

- ・各教師の創意が機能的にはたらく組織の運用を図る。
- ・学校評価を実施し、学校運営のより良い方向を探る。

## 自己評価の実施体制

学校が経営目標をたて、具体的な実践を行い、その結果を次年度の学校経営方針に反映し、教育活動を改善するというPDCAのサイクルに基づき継続的に改善していくためには、目標を適切に改善していくことが必要である。そのために、本校では学校全体の教育目標とともに、めざすべき成果やそれに向けた取組に関する中長期と単年度の目標を具体的に設定することにした。

評価項目については、短期経営目標（本年度の重点目標）をさらに具体化して設定し、教育課程・授業改革・子ども主体の学校づくり・学校保健・生徒指導の中から取捨選択して決定した。

アンケート調査の実施については、教師 児童 保護者を対象に行った。設問は20問とし、個人情報保護の観点から匿名性の担保に配慮した。

評価結果（「よくあてはまる」、「ややあてはまる」の合計の割合で判断した。）

100%～80%・・・A	80%～70%以上・・・B
70%～50%・・・C	50%未満・・・D

## 考 察

### （1）全体評価

設問1「附属小学校は誇れる学校である」に対して、教師・保護者・児童の3者ともに、Aの割合が90%を超える評価であったことは嬉しいことである。また、子どもの自主性や主体性を育む教育実践への高い評価を受けている。そうした取組によって、子どもたちは楽しく学校に通っていることがわかる。20項目の設問に対する評価で、3者ともに、A評価が多く見られることは、学校運営が概ね良好に行われていると考えられる。

また、全体的に教師は厳しい自己評価を行っている。設問12「子どもの話をよく聞いている」については、保護者・児童はAであるが、教師はC評価である。設問11「学級だよりで校内のできごとをよく知らせてくれる」についても同じような評価である。

しかし、授業においては、子どもの考える力や人とかかわる力が育っていることを評価しながら、基礎的な知識や技能の習得については、教師・保護者ともに低い評価になっている。さらに、コンピュータの利用、教室環境の整備に対する評価も低い。

### （2）教師による自己評価

【Aの中でも評価の割合が100%だった項目】

設問1 附属小学校は、誇れる学校である。

設問2 附属小学校は、子どもの自主性や主体性を育む実践ができています。

設問10 子どもは、楽しく学校生活を送っている。

設問 19 子どもの健康面に配慮している。

設問 20 附属小学校の職員は、校長、副校長を中心にチームワークよく仕事に取り組んでいる。

この結果から、附属小学校は、校長、副校長の指導のもとに、自校の教育目標を理解し、その達成に向けて日々教育活動に取り組んでいることがわかる。また、子どもの自主性や主体性を育てているから、楽しい学校生活を送ることができるとも考えている。

【C・Dと自己評価した項目】

設問 6 授業によって、子どもに基礎的な知識や技能が身についている。	D 38.9 %
設問 11 学級だよりなどで校内のできごとを、よく保護者に知らせている。	C 61.1 %
設問 12 多用なときでも、子どもの話をよく聞こうとしている。	C 66.7 %
設問 16 コンピュータの使い方をていねいに指導している。	D 16.7 %

コンピュータの利用については、週1時間各学級に割り当てを決めているが、利用状況は少ないのが現状である。

また、授業についても、子どもの自主性や主体性を重視しているが、各教科における基礎的な知識や技能の習得といった点や、家庭との連絡や子どもとの対話については、取組が不十分と評価している教師が多いことがわかる。

(3) 児童による授業評価・満足度調査

【Aの中でも評価の割合が90%を超えた項目】

設問 1 附属小学校は、じまんでできる学校である。	A 90.2 %
設問 3 附属小学校の授業では、大切なことを学ぶことができる。	A 91.9 %
設問 10 学校へ行くのを楽しみにしている。	A 92.3 %
設問 17 先生は、きまりの大切さや気持ちよい生活の仕方についてよく教えてくれる。	A 90.4 %
設問 17 学校では、命の大切さや安全な生活の仕方について、よく教えてくれる。	A 90.7 %
設問 20 附属小学校の先生たちは、仲がよい。	A 90.9 %

20の設問に対し、15項目が「A」の評価であった。中でも、子どもたちの多くが、学

校へ行くのを楽しみにしており、授業の意義や学校生活におけるマナーやルールについても、よく考えていることがわかる。

【 B・C・Dと評価した項目】

設問 11	先生は、学級だよりをよく出してくれる。	B	77.9 %
設問 15	教室の中はいつもきれいになっていて、生活しやすい。	C	63.8 %
設問 16	先生は、コンピュータの使い方をていねいに教えてくれる。	D	36.4 %
設問 18	先生は、給食の食べ方や過ごし方をていねいに教えてくれる。	B	77.7 %
設問 19	体の調子が悪いと、先生はすぐに気づいて声をかけてくれる。	B	71.5 %

児童の調査結果からも、コンピュータ利用の少なさがわかる。また、教室環境の整備が十分でないと評価している。さらに、体調がすぐれないときの対応について不十分であることがわかる。

( 4 ) 保護者による満足度調査

【 Aの中でも評価の割合が 90 %を超えた項目】

設問 1	附属小学校は、誇れる学校である。	A	91.3 %
設問 2	附属小学校は、子どもの自主性や主体性を育む教育の実践ができています。	A	95.8 %
設問 10	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	A	96.9 %

本校の自主性や主体性を重視した教育に対し理解をして、成果に対して評価していることがわかる。また、子どもたちが楽しく学校へ通う姿を認めている。

【 C・Dと評価した項目】

設問 6	授業によって、子どもに基礎的な知識や技能が身についている。	D	42.9 %
設問 15	子どもが生活しやすいように、教室環境が整えられている。	C	64.4 %
設問 16	学校は、コンピュータの使い方をていねいに教えてくれる。	D	36.8 %

本校の授業については、「授業によって、子どもの考える力や人とかかわる力が育って

いる」(87.6%)と高い評価であるが、基礎的な知識や技能の習得については評価が、かなり低い。コンピュータ利用についても評価が低い。

(5) 3者間の比較

ア 教師と児童の間に意識の差が見られる項目

4	・自分は、一人一人の子どもを大切にしている。(教師)	B 77.8%
	・先生は、自分のことを大切にしてくれる。(児童)	A 89.1%
5	・朝の会のスピーチによって、子どもたちに「聞く・話す」力が育っている。(教師)	B 72.2%
	・スピーチで、お話をしたり、友だちの話を聞いたりすることが好きになってきた。(児童)	A 89.1%
6	・授業によって、子どもに基礎的な知識や技能が身についている。(教師)	D 38.9%
	・授業によって、知識や技能がよく身についている。(児童)	A 88.1%
9	・子どもの生活日記をていねいに読んでいる。(教師)	B 72.2%
	・先生は、生活日記によく返事を書いてくれる。(児童)	A 86.0%
11	・学級だよりなどで校内のできごとを、よく保護者に知らせている。(教師)	C 61.1%
	・先生は、学級だよりをよく出してくれる。(児童)	B 77.9%
12	・多用なときでも、子どもの話をよく聞こうとしている。(教師)	C 66.7%
	・先生は、自分の話をよく聞いてくれる。(児童)	A 87.0%
15	・子どもが生活しやすい教室環境になるように留意している。(教師)	B 77.8%
	・教室のなかはいつもきれいになっていて、生	

活しやすい。(児童)	C 63.8 %
------------	----------

19 ・子どもの健康面に配慮している。(教師)	A 100.0 %
・体の調子が悪いと、先生はすぐに気づいて声をかけてくれる。(児童)	B 71.5 %

イ 教師と保護者の間に意識の差が見られる項目

3 ・附属小学校の教育研究は成果をあげている。(教師)	A 94.4 %
(保護者)	B 78.3 %

5 ・朝の会のスピーチによって、子どもたちに「聞く・話す」力が育っている。(教師)	B 72.2 %
(保護者)	A 88.2 %

11 ・学級だよりなどで校内のできごとを、よく保護者に知らせている。(教師)	C 61.1 %
・先生は、学級だよりなどで校内のできごとをよく知らせてくれる。(保護者)	B 77.7 %

12 ・多用なときでも、子どもの話をよく聞こうとしている。(教師)	C 66.7 %
・先生は、子どもの話をよく聞いてくれる。(保護者)	A 83.3 %

13 ・社会のルールやマナーについてよく指導している。(教師)	A 94.4 %
・先生は、社会のルールやマナーについてよく指導している。(保護者)	B 76.6 %

14 ・附属小学校は、保護者の意見や要望をよく聞き、改善努力をしている。(教師)	A 88.9 %
(保護者)	B 77.5 %

15	・子どもが生活しやすい教室環境になるように 留意している。(教師) (保護者)	B 77.8 % C 64.4 %
----	---	----------------------

18	・学校は、給食指導をていねいにしている。(教師) (保護者)	B 72.2 % A 81.4 %
----	-----------------------------------	----------------------

20	・先生たちは、校長、副校長を中心にチームワークよく 仕事に取り組んでいる。(教師) (保護者)	A 100.0 % B 75.5 %
----	---	-----------------------

#### (6) 成果と課題

ア 今回のアンケート結果で、「附属小学校は誇れる学校である」という意識を、教師・保護者・児童ともに高くもっていることがわかったことは、学校運営をしていくうえでは、何よりの励みになる。こうした意識が、さらに意欲化につながり、教師・保護者・児童が一丸となって、よりよい学校づくりを推進していけると考える。

イ 教師による自己評価結果から、各自が厳しく評価している。これは、本校の教育目標を理解し、日々研鑽に励んでいこうとする意識の高さによるものである。今後は、教育研究の成果を、保護者や地域の教育関係諸機関に広く公開していく必要がある。また、日々の学校生活では、これまで以上に子どもに寄り添いつづけなければならない。さらに教室環境の整備、コンピュータの利用数の増加などにも取り組んでいくことが求められる。

ウ 授業については、「子どもの考える力や人とかかわる力が育っている」ことについては、3者が評価していることがわかった。これは、「生きる力」を育むうえでも、今後の授業においても、重点的に取り組んでいく。しかし、「基礎的な知識や技能の習得」という視点では、これまで本校で問題となっていた点である。子どもの自主性や主体性を育てていくことに変わりはないが、教えるべき事項については、確実に身につけられるように周知徹底を図っていかなければならない。

エ これからの社会を人とかかわりながら、たくましく生き抜いていくためには、社会のルールやマナーを守り、命を大切にしながら安全に生活することが望まれる。そこで、今後も、学級活動や朝の会、帰りの会をはじめ、行事などを通して、社会生活を営んでいくための規範意識を高めていくことが必要である。

オ 今回の調査は、初めての試みであり、附属小学校の児童は、岡崎市内全域から登校しているために、地元との交流があまりないことなどの理由で、地域の方へのアンケートは実施しなかった。しかし、学校評価の結果をホームページ等に掲載することで、地域社会の方の附属小学校への関心が高まってくるだろう。そうした状況が見られたら、地域社会の方にもアンケートをお願いしていく。そして将来的には、4者による比較をもとに検討していく。

(7) 改善策

授業づくりを見直すとともに、基礎的な知識や技能の習得を図る。	
目 標 値	設問 6 基礎的な知識や技能が身についている。
	教師 D 38.9 % C 60 %
	保護者 D 42.9 % C 60 %
	設問 16 コンピュータの使い方をていねいに教えてくれる。
	教師 D 16.7 % C 50 %
	保護者 D 36.8 % C 50 %
	児童 D 36.4 % C 50 %
改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの自主性や主体性を育むために、問題解決的な学習のスタイルは今まで通り行い、その中で、考える力や人とかかわる力をさらに育成していく。</li> <li>・基礎的な知識や技能が、さらに定着するように、ドリル学習や反復練習などの時間を確保していく。また、TTなどの指導形態を工夫して、一人一人の学習状況に応じた指導ができるようにする。</li> <li>・ひとり調べなどで、コンピュータを使う機会を設け、使い方等の指導をしていく。</li> </ul>

子どもたちがルールやマナーを守り安全で、気持ちのよい生活環境を整える。	
目 標 値	設問 15 子どもが生活しやすいように、教室環境を整えられている。
	教師 B 77.8 % A 80.0 %
	保護者 C 64.4 % B 75.0 %
	児童 C 63.8 % B 75.0 %
	設問 13 社会のルールやマナーについてよく指導している。
	保護者 B 76.6 % A 80.0 %
	設問 19 子どもの健康面に配慮している。
	保護者 B 86.6 % A 90.0 %



	児童    B   71.5 %                      A   80.0 %
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と児童が普段から，清掃活動の意義を考え，進んで教室環境を整えることができるように話し合う場を設ける。</li> <li>・整備部や児童委員会と協力しながら，点検活動を行い校内美化の推進や清掃道具の補充などを行っていく。</li> <li>・大学と連携を図り，校内施設の充実など学習環境の改善に取り組む。</li> <li>・あいさつの励行や登下校時におけるバスマナーなど，子どもたちの生活の中でルールやマナーについて考える機会をとらえ，学級活動や通学班会などを使って継続的に指導していく。</li> <li>・朝の健康観察に限らず，常に子どもの健康状態を把握するように，児童観察に努めるとともに，非常を認めた場合は，養護教諭や家庭，医療機関と連絡をとりながら対処していく。</li> </ul>

家庭，地域に学校の様子や状況について積極的に情報提供していく。																					
目標値	<p>設問 11 学級だよりなどで校内のできごとをよく知らせてくれる。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>教師</td> <td>C</td> <td>61.1 %</td> <td>B</td> <td>70 %</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>B</td> <td>77.7 %</td> <td>A</td> <td>80 %</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>B</td> <td>77.9 %</td> <td>A</td> <td>80 %</td> </tr> </table> <p>設問 14 保護者の意見や要望をよく聞き，改善努力をしている。。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>保護者</td> <td>B</td> <td>77.5 %</td> <td>A</td> <td>85.0 %</td> </tr> </table>	教師	C	61.1 %	B	70 %	保護者	B	77.7 %	A	80 %	児童	B	77.9 %	A	80 %	保護者	B	77.5 %	A	85.0 %
教師	C	61.1 %	B	70 %																	
保護者	B	77.7 %	A	80 %																	
児童	B	77.9 %	A	80 %																	
保護者	B	77.5 %	A	85.0 %																	
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級だよりだけでなく，学年だより，ホームページなどを活用して，校内のできごとを知らせていく。</li> <li>・自己評価の結果を分析したり，学校関係者評価を参考にしながら，改善点を各校務分掌ごとに考えていく。また，学校評価については，改善点などを加えて，ホームページなどを使って公開していく。</li> <li>・学校の教育活動について理解と協力が得られるように，PTA総会で教育重点目標や教育研究の概要などを説明したり，学校公開日を年間計画に位置づけたりする。</li> </ul>																				